

つくばみらい市(つくばみらいし)

		法人番号	7000020082350
	市章	〒 300-2395	地域指定
	〈住所〉つくばみらい市福田195番地 〈TEL〉0297-58-2111 〈FAX〉 0297-58-5611 〈HP〉 https://www.city.tsukubamirai.lg.jp 〈e-mail〉infot@city.tsukubamirai.lg.jp	〈一部事務組合加入事業〉 退職手当 消防賞 消防員 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市町村会館管理 滞納処分等 し尿火葬場 消防 地域交流センター 総合運動公園 ごみ 共同研修 防災センター 障害者支援施設 公共下水道 水防	公営企業 ※令和7年3月31日現在 法適用(上水 公共下水 農業集落排水)
類型	Ⅱ-2	地方公共団体コード	082350
面積	79.16	km ²	

<行政組織>

①長等(令和7年5月1日現在)

長	おだがわ ひろし 小田川 浩 (58歳)	任期	令和8年5月13日
		就任回数	2期目
副市長	欠員		

②議会(令和7年5月1日現在)

議長	鐘ヶ江礼生奈	副議長	岡本昌弘
任期	令和10年2月29日	条例定数	18人
現議員数	18人	党派別	公明2人、共産1人、無所属15人

③職員数(令和6年4月1日現在)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係	公営事業会計関係
416	371	300	45
一般行政職の平均給料月額	3,081 百円	ラスパイルズ指数	97.3
地域手当補正後ラス指数	97.3	全職員数の推移	令和3年4月1日 410
令和4年4月1日 418	令和5年4月1日 423		

④機構図(令和7年4月1日現在)

<市長>—<副市長> ※()内は課内室	
市長 公室—秘書広報課【ふるさと納税推進チーム】、企画政策課、行政経営デジタル戦略課、地域推進課	
総務部—総務課、財政課、税務課、収納課、防災課	
市民経済部—産業経済課、生活環境課(廃棄物対策室)、市民窓口課	
保健福祉部—社会福祉課、介護福祉課、国保年金課、健康増進課 こども局—みらいこども課、おやこ・まるまるサポートセンター	
都市建設部—都市計画課、住まい開発政策課、プロジェクト推進課、建設課、上下水道課	
<会計管理者>—会計課	
<教育委員会>—<教育長> 学校総務課、教育指導課、生涯学習課(文化振興室、スポーツ推進室)	
<議会>—議会事務局	
<農業委員会>—農業委員会事務局	
<行政委員会>—選挙管理委員会事務局、監査委員事務局、固定資産評価審査委員会事務局	

<概要>

①沿革

平成18年3月27日 合併 伊奈町 谷和原村

②地勢・風土等

つくばみらい市は、茨城県の南西部に位置し、首都圏40km圏にあり中央に広がる水田地帯と西部東部の台地に二分され、水田地帯には豊かな水を湛える小貝川が流れている。つくばエクスプレスみらい平駅を中心として、スーパーなどの商業施設や業務施設が立地するほか、マンションや戸建て住宅が立ち並び、人口が増加している。
--

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口
	平成22年	平成27年	令和2年	(令和7年4月1日)
人口	男	22,163	24,685	24,895
	女	22,298	24,451	24,977
	合計	44,461	49,136	49,872
世帯数	15,273	18,137	19,971	21,918

④有権者数(令和7年3月3日現在)

有権者数	男	女	計	老齡人口割合
	21,543	21,616	43,159	26.2 %

<産業・経済>

①生産・所得(令和4年度)

市町村内総生産	2,657 億円	住民所得	1,840 億円
		人口1人当り住民所得	3,620 千円

②産業構造

区分	総生産額(令和4年度)	就業人口(令和2年国調)
第1次	1,882 0.7%	875 3.7%
第2次	148,494 55.9%	6,541 27.7%
第3次	112,588 42.4%	16,185 68.6%
総額・総数	265,686 —	23,601 —

③農業・工業・商業

農業 (令和2年2月1日)	農家数	主業農家数	農業就業人口
	1,264	85	2,253
製造業 (令和5年6月1日)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (R4.1.1~12.31)
	85	6,210	414,919
卸・小売業 (令和4年6月1日)	事業所数	従業者数	年間販売額 (R3.1.1~12.31)
	251	2,057	73,232

④特産物

コシヒカリ、トマト、巨峰

<財政状況>

①決算収支 (千円・%)

区分	令和4年度決算	令和5年度決算	増減率
歳入	27,101,769	26,205,623	△ 3.3
歳出	26,175,131	25,376,723	△ 3.1
形式収支	926,638	828,900	－
実質収支	871,323	613,693	－
単年度収支	333,284	△ 257,630	－
実質単年度収支	108,872	△ 934,500	－

②主な歳入・歳出(令和5年度) (百万円・%)

区 分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	26,206	－	△ 896	△ 3.3
地方税	9,357	35.7	120	1.3
地方交付税	3,073	11.7	286	10.3
国庫支出金	3,893	14.9	△ 544	△ 12.3
地方債	511	1.9	△ 902	△ 63.8
うち臨財債	136	0.5	△ 136	△ 50.0
その他	9,372	35.8	144	1.6
うち繰入金	2,103	8.0	△ 4	△ 0.2
歳出	25,377	－	△ 798	△ 3.0
義務的経費	11,454	45.2	805	7.6
人件費	3,725	14.7	134	3.7
扶助費	5,573	22.0	628	12.7
公債費	2,156	8.5	43	2.0
投資的経費	1,285	5.1	△ 1,854	△ 59.1
普通建設事業費	1,285	5.1	△ 1,854	△ 59.1
うち補助	712	2.8	△ 563	△ 44.2
うち単独	490	1.9	△ 1,308	△ 72.7
その他の経費	12,638	49.7	251	2.0
うち繰出金	1,575	6.2	72	4.8

③主要指標(令和5年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	－ % (12.90)
連結実質赤字比率	－ % (17.90)
実質公債費比率	6.6 % (25.0) [6.6]
将来負担比率	20.9 % (350.0) [23.3]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(令和6年度)	0.753	[0.670]
経常収支比率	94.7 %	[92.6]
標準財政規模(令和6年度)	13,983 百万円	[16,772]
地方債現在高(A)	19,878 百万円	[25,447]
債務負担行為支出予定額(B)	5,043 百万円	[4,978]
積立金現在高(C)	4,744 百万円	[7,929]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	20,177 百万円	[22,496]

※1 ()は早期健全化基準、[]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均、それ以外は単純平均

④市町村税の状況(令和5年度) (千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 []は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	3,368,963 (35.7)	3,330,661 (35.6)	98.9 [97.2]
市町村民税・法人 (構成比)	1,076,105 (11.4)	1,074,106 (11.5)	99.8 [98.6]
固定資産税 (構成比)	4,026,817 (42.7)	4,001,659 (42.8)	99.4 [97.3]
市町村税合計 (国保除く)	9,428,181	9,357,300	99.2 [97.4]

<公共施設整備状況>(令和5年度) ※1は令和6年度

小学校 ※1	10 校	体育館	1 か所
中学校 ※1	4 校	プール	0 か所
義務教育学校 ※1	0 校	児童館	2 か所
幼稚園 ※1	4 園	老人福祉施設	29 か所
保育所 ※1	14 か所	病院・一般診療所	25 か所
認定こども園 ※1	4 園	道路改良率	25.8 %
図書館	3 か所	道路舗装率	74.8 %
公営住宅	72 戸	上水道等普及率	98.8 %
公民館等	5 か所	污水处理普及率	93.0 %

<主要施策等>

①主要施策実施状況 (百万円)

名 称	期間	内 容	概 算 事業費
新住宅地の開発	R6 ～	スマートIC設置による交通利便性向上や周辺開発、福岡工業団地での雇用創出を背景に、新たな住宅地を開発しまちの賑わいを波及させる。	62 (R7)
スマートインターチェンジの設置及び周辺開発	R1 ～	スマートICを設置することで、周辺地域の利便性向上及び企業誘致の促進を図る。また、スマートIC周辺開発により、地域経済に活力を生み出す。	206 (R7)
新たな中学校の建設	R4 ～	みらい平地区では、中学校の生徒数の増加が見込まれていることから、早期に中学校を建設し、子どもたちの教育環境を整える。	5,541 (R7)
英語が使える15歳の育成	R3 ～	幼稚園や保育所等にALTを派遣し英語に触れる環境を整え、教育課程特例校として小学校低学年の英語学習を実施し学びを繋げる。	257 (R7)
みらい型農業の推進	R2 ～	民間企業や農業者等の地域資源を活用し就農から定着までを支援する。米コンテスト世界大会を開催し市内産米の美味しさを発信する。	140 (R7)

②今後の主要課題・特色ある行政等

〈主要課題〉 ・スマートインターチェンジの設置及び周辺地域の活性化 ・市民が安心して子どもを産み育てることができる環境の整備 ・新たな住宅地開発による移住定住促進と地域活性化
〈特色ある行政〉 ・スマートインターチェンジ周辺エリアの開発によるにぎわい創出 ・あれも、これも本気の子育てのまちとして寄り添う伴走型サポート ・子育て応援住宅の管理運営と新たな新住宅地の開発 ・英語が使える15歳を目指したグローバル人材を育成する英語教育 ・米コンテスト世界大会の開催やスマート農業などの攻めの農業支援 ・福岡工業団地の整備による地域経済活性化と新たな雇用の創出 ・市民活動団体との協働による地域課題解決 ・自治体DXIによる「行かない窓口」の推進 ・市内外を結ぶ公共交通の充実 ・防災・減災の取組を推進し、犯罪にも強い安全安心なまちづくり